

国分寺報

発行
 真言宗国分寺派
 大本山国分寺教学部
 〒531-0064
 大阪市北区国分寺
 1-6-18
 06-6351-5637
 発行責任者 糟谷 眞教

この度の新型コロナウイルス感染症及び甚大な豪雨被害に影響を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます 一日も早い終息を願います



新型コロナウイルス早期終息
 當病平癒祈願

生命力を信じ

生かされている実感に感謝

真言宗国分寺派 管長
 大本山国分寺 座主

合田 和教



「気づかい」と「想いやり」、
 「安全」と「安心」、人との
 付き合いの中で、また生きて
 いく中で大切なことで
 す。コロナ感染症の中、人

によっては、個人になる人、また、多くの人は、
 家庭にもどり、家族との新たな時間を過ごしてい
 ます。人は何かが変われば、新しいことの始まり
 と考えがちになるけど、もともっと現実に戻り
 ゆっくりと、落ち着いて自分と向き合い、人との
 つながりを持ち、一度見つめなおすことから初め
 ました。まずは家の掃除、タンスの整理、子ども
 達と過ごす時間の中で、想い出の物が出てきたり、
 写真や、ビデオに向かうと会話もあり、そんな中で、
 家族の中でも「気づかい」をしたり、相手を考え
 る想いやりも、今こんな世の中でも、笑顔であり、
 笑っていられる。本当に「安全」ではないけど「安
 心」のひとつときを楽しんでいました。人ってどん
 な時でも、「生きる」ことの大切さを感じ、生命力
 を信じ生かされていることを実感しています。本
 当にありがたいことです。

国分寺会

当たり前の

日常の有難さに 感謝しつつ

法祥院 酒井 隆安

本年度、国分寺会の会奉行を務めさせて頂きました。長崎県島原市法祥院の酒井隆安です。

まず、新型コロナウイルスの感染により、お亡くなりになられた方々によりご冥福をお祈り申し上げます。本年の国分寺会は例年とは違う異例の形での法会となりましたが、滞りなく無事に終えることが出来ました事、このような状況下で参加させて頂きました事に感謝申し上げます。

本山国分寺会と連携

新型コロナウイルス

早期終息を願って

應雲山 感応院

今回、本山より各末寺に於いて「国分寺会」同日に自坊にて、新型コロナウイルス早期終息祈願を厳修するよう要請がありました。

聖武天皇の国分寺

建立の話

宗務総長 糟谷 眞教

きな幸福を求めたい。以前(天平9年11月)各地の神社を修造させ

末寺・檀信徒・有縁の方々には於かれましては毎々本山護持にご尽力賜り厚く御礼申し上げます。年始より新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により想定外の様々な問題に直面しております。未知のウイルスに対する恐怖、医療の崩壊、経済の混乱、しかしながら歴史を紐解きますと有史以来何度も同じような危機に人類は直面しながらも立ち向かい克服してきたのでございます。国内に於いては聖武天皇が国分寺建立の詔をもって仏教による鎮護国家を強く願いました。

天平13年、聖武天皇40歳の時発布された詔には「私は徳の薄い身であるのに、おそれ多くも天皇という重い任務を受けている、しかし民を導く良い政治を広めることができず、寝ても目覚めても恥ずかしい気持ちでいっぱい。昔の賢い君主は、みな祖先の仕事をよく受け継ぎ国家はおだやかで無事であり人びとは楽しみ災害はなく幸福に満ちていた。どうすればこのような政治ができるのであろうか。この数年は凶作が続き伝染病が流行している。私は恥かしさとおそろしきで自分を責めている。そこで万民のために大

誰もが予想だにできなかった、これまででかつてない不安、心配、恐怖にかられる大変な日々を送る事となりました。あたり前の日常がいかに有難いことなのか、生きる事に対しても考え直させられた事と思います。このように感慨深く今回の会奉行を務めさせて頂いた中で、管長猥下が先頭にお立ちになり、自ら護摩壇に登壇され、疫病退散の護摩祈願を行って頂いたお姿を拝見したときは、感激いたしました。私が今回の法会を通じ、感じ得たものは、「世の中がどんな状況であつても、心眼をもって物事を見て行く事が必要。そして今できる、やるべき行動をとる事」ということでした。これまで経験した事のない世界に立ち向かうとする時、誰しも不安や心配、恐怖が先行してしまいます。しかし、行動を起こさずしては、待っているだけで

当院では5月17日11時より、副住職が護摩供・住職が聖天浴油供をそれぞれ修法し、皆で仁王護国経・般若心経等を唱え厳修することに致しました。法要に向け、お弟子さんにも「仁王護国経」を唱えられるよう日々練習していただき、住職・副住職はそれぞれ二十一座、日々お勤めする事に致しました。17日の結願時、護摩供と聖天浴油供での同時修法は、当院でも初めての試みということもあり、正直不安ではあ

は何も解決しませんが、幸せも楽しみも喜びもやってきません。自分が求める事柄に対して、まず、勇気を出して第一歩を踏み出し、行動を起こしてこそ初めてその現象に結び付き、結果がやってきます。祈りも同じです。意識を持ち、目的を持った祈りを行ってこそ願いも成就していくものでそれは、願いを明確に持てば持つほど、訪れる結果は変わるものだと思います。それにより得られた結果は、自己満足の世界かも知れませんが、自身が満足する結果を得られる事は、大変うれいものです。「意識を持ち、心持ちを持ち、心眼を持つ」今、私に出来る事は、私は今何をすべきなのか、心眼を持って物事を見ることが出来るか、自問自答しながら日々の行動に移し、当たり前の日

りました。当日は、コロナウイルスによる外出自粛要請期間中ということもあり、少人数の参列者でしたが、参拝者と一緒に願いを届ける事に尽力をつくすことができ良かったと思っております。現在も引き続き、新たな行法で修法を続けておりますが、世界中の人々が一日でも早く、元の生活が送れますよう願って参りたいと思っております。合掌



合掌

常がいかに有難いことであるかを心に持ち、努めてまいる所存でございます。大変な状況の中、素晴らしい学びの機会を与えて頂いた事を、管長猥下、職員の皆様、ご協力頂きました皆様に心より感謝申し上げます。有難うございました。

暑中お見舞い

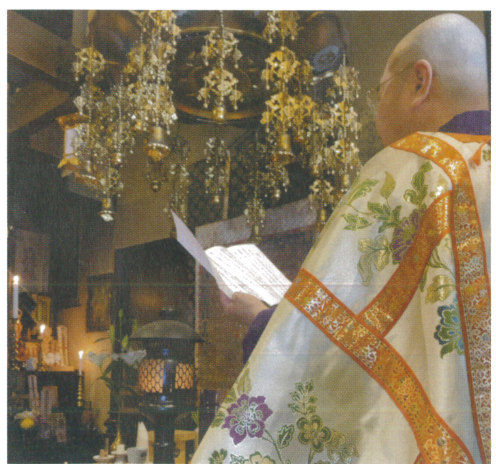
申し上げます。

執事長 名幸 観教

本年はコロナウイルスの影響で自粛生活が続く、今までの生活様式が変化して行く中、いかがお過ごしですか。私自身は環境が変われば方法も変わると頭では理解していても変化する事が難しいと思う半年でした。その中で国分寺として明るいニュースといえば、昨年から進めてきました令和5年4月23日から6月13日に厳修されます香川県総本山善通寺に於ける『善通寺弘法大師御誕生1250年記念大法会』への出仕が決まったことです。

善通寺は香川県善通寺市にあり真言宗の宗祖弘法大師様の御誕生なされた場所に建立された寺院で、その3年後の節目の年に我々が出仕いたしました御祝いの法要を勤めさせて頂ける事は、真言宗国分寺派・大本山国分寺に於きましても幸せな経験となります。現在参拝方法や法要の中身につきましては打ち合わせが止まっておりまして、今後、寺報にて随時報告させていただきます。

善通寺出仕以外の件につきましては進めていますのでご期待頂けましたら幸いです。皆様体調に御自愛頂き、行事でお会いできます日を楽しみにしております。合掌



小暑のご挨拶

事態の一日も早い収束を祈って

大本山 国分寺

顧問会会長 中村 興司

新型コロナウイルスの感染が世界で拡大し、日本でも各地で被害が出ております。未だかつてないほどの緊急事態に全世界が直面しており不安な日々を過ごされている皆さまにおかれましては、一日も早い事態の収束を心よりお祈り申し上げます。このような状況の中、日本各地で降り続く豪雨も重なり九州・中部地方をはじめ広範囲で被害が発生しております。平穏な日々が戻ることをお祈り申し上げます。

この未曾有の事態に対応すべく、人の動きが止まり、経済が止まり、暗いニュースや自粛疲れと先行き不透明な時代に気持ち暗くなるばかりです。

ふり返りますと、今から約1300年前の、「天平の大疫病」などの疫病が発生しました。遣唐使などの派遣で天然痘が日本に持ち込まれ流行して当時の日本の総人口の25%から35%にあたる100万人から150万人が感染により死亡されたとしております。聖武天皇は、仏教に帰依をして、平安な

世の中に戻す為、天平13年(741年)には国分寺建立の詔を、天平15年(743年)には東大寺盧舎那佛像の造立の詔を出しています。全国に国分寺、国分尼寺を建立し、国家の安寧を仏教で支える体制を強化し、国分寺は、国を鎮め護るために祈禱をする「鎮護国家思想」の使命で全国60数か所に建てられたという歴史があります。



現在、国分寺としましては、新型コロナウイルス感染症が落ち着く事を願って、毎日祈禱を行っております。加えて毎月28日には「護摩行」を行い

コロナウイルス感染症や無病息災を願っております。

また昨年から会館の建築を行っており、新しい会館のお披露目は年内の竣工を目指しております。

さらに2023年(令和5年)には、弘法大師御誕生1250年の記念法要が予定されており今後もそれに合わせてみなさまに親しみを持って頂けるような国分寺にしていきたいと思っております。

このような状況の中ではありますが、皆さまのご健康と、益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。何かと不便の多い今日ですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が戻りますように。今後も引き続き、皆さまのご支援ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

合掌

春彼岸会

令和2年3月20日(金曜日) 大本山 国分寺昭和金堂で春彼岸会が行われました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、卒塔婆の事前申し込みが多く、また、国分寺と致しまして恒例となっており、御接待を中止し、参拝される方々の距離もあけるよう、準備させていただきました。

例年がない事態の中で行われましたが、皆様のご先祖さまへの御供養の気持ちにうれしく有難い気持ちでいっぱいになりました。普段の当たり前の情景がこんなにも有難い事なのだ、改めて感謝する事が出来ました。

この難を乗り切った時には、また、いつもと変わらない春彼岸会を務めてまいりたいと思っておりますので、皆様お身体ご自愛いただければ幸いです存じます。

相生(吉方位)の求め方の本題に入ります。今年の相生は次の通りで令和3年1月迄です。

一白の人の吉方位は北と巽(東南)が吉。

二黒の人は、巽(東南)と乾(西北)が吉方。

三碧の人は艮の鬼門(北東)と坤の裏鬼門(南西)が吉。

四緑の人は、北方のみが吉方位となります。

五黄の人は、南方位と乾(西北)です。

六白の人は、真南が吉方位となります。

七赤の人は、真南と巽(東南)と乾(西北)が吉方です。

八白は南方のみが吉方。

九紫の人は、南と北と乾(西北)が吉です。

吉方移転といっても隣近所ではダメで少なくとも大きな河川を跨ぐくらいの距離をとっていただきたいものです。あまり近すぎると折角の吉方の良さが出てきません。

最後になりましたが六大凶方位を列記しておきます。暗剣利・五黄利、本命利、的利、歳破、土用利以上が六大凶方位でココミに載せてないものがありますが物事の判断、人生の指針の助けになれば幸いです。

合掌



前回よりの続きを勉強していきたいと思っております。「いねのみず」とらうはき

なり みうまひに さるとりはかねししはつちなり」この歌を漢字で書いてみますと「亥子の水 寅卯は木なり 巳午火に 申酉は金 四支(丑・辰・未・戌)は土なり」皆様お馴染みの(木・火・土・金・水)五行と十二支との夫々の性質を歌にして覚えやすくしたものです。

「水は木を生み、木は火を生み、火は土を生み、土は金を生み、金は水を生む」十二支と五行の組み合わせで年々歳々くり返し、くり返し推移していると考えられていて、之を相生(そうしよう)と云い、相生とは方位の上で『相仲良く』と云う事です。この相生を人の性格にまで応用されていて、相性(あいしょう)の組み合わせに利用されていますが、参考にはなってもあまり当てにはなりませんので特記しておきます。相生・相剋は、方位を鑑定

『知って損しないココミの鑑かた』

御供所 竹澤 成時

する為のものです。

子は、真北30度を指し、九星は一白水星です。丑寅は北東60度圏内で俗に鬼門と云われています。これは、丑を動物の牛に置き換え牛の角をイメージし、寅は、虎の牙をイメージし「角と牙」で鬼の顔を想像して鬼門としたものと思われまます。古来中国では、貴門と書いて(艮)一文字を当てています。大阪城を中心として枚方方面に丑寅という地名があります。九星は八白土星で一般には、鬼門といって忌嫌われる方位ですがこの方位を吉方位の時期に使うと素晴らしい方位であることの特記しておきます。

卯の方位は、真東を指し30度圏内で九星は三碧木星(參碧)で空の青さを表わし『參天に通ず』という言葉があり參天製薬の商標にもなっています。辰巳の方位は東南60度圏内を指し異一文字で表わし大阪城を中心に東南方面に巽町があります。九星は四緑木星で四緑の緑は深緑の緑色を表現し、意味は斉う・整う・調う(三字ともとのう)という意味をもっています。語呂合わせで四は死ではありません。語呂午は、真南30度圏内を指し午は走る

午は、真南30度圏内を指し午は走る

永代供養・樹木葬・堂内墓地はヤシロにお任せ下さい。

霊園・墓石のヤシロ

0120-140-846 ヤシロで検索

老木の挽歌

木田 知行

ふぁーあーあ。ふむ、よく寝たわい。そろそろ起きるとするかの。儂が眠ってる間にいろいろあったようじゃ。同胞が何体かおったはずじゃが、儂を含め三体しか残っておらぬとは。隣の同胞よ教えてはくれぬか。・・なるほど、先の戦火で皆焼けてしまったか。生き残りは墓におるあやつと、不動尊のご神木と化したおぬし、そして人の住処の隣におるわしだけ。しかし、それも運命と思えば仕方がないことなのかもしれんな。我らにも、滅びなのか将又、予想もせぬ運命がくるかも知れんのだから。いかな、しんみり感じるのここまでにして、人の子の営みを見るときしようかの。ふおふお。

なるほどなるほど、人の生も様々あるようじゃな。儂ら、樹よりもはるか複雑そうじゃわい。人の子よ負けるでないぞ。いかなる道にも光はあるぞいと、励ましたところで儂も足下に目を向けて見ようかの。隣のよ、そなたも無関係ではないのだぞ？これ、そっぽを向くでないわ。墓のおぬしもじゃ。まったくやれやれじゃ、知つての通り儂らは紅葉し、人の子が「銀杏」と呼ぶ実を落とす。ま、落とす

のは儂と隣のやつだけで墓のやつは落とさるのじゃが、そのあとに葉を大量に

落とすのは一緒なんじゃよ。そのため、ほれ、落ち葉を掃除する者なんかは大変な目にあつておるしなにより実が放つ臭いが強烈らしくて、儂ら自身はなんともないんじゃが真ひどい臭いらしい。ま、それを食べるために取りに来る人の子も後を絶たないようじゃし、物好きなものよ。

さて、儂と、隣のの運命が決まる日が来たようじゃ。人の子が「台風」と呼ぶ自然現象が来る季節となつたんじゃが、今度のはひと味違いそうじゃわい。今までも、雨や風は強い物があつたが、そのレベルを遙かに超えた物が来つたのじゃ。今も、か、風が、儂と隣のの枝を激しく揺らしておる。折れそうじゃ。やらせんな。やらせな。隣のよ踏ん張るのじゃぞ。と思つていた時期があつたのじゃが、ついにそのときがきてしまったのじゃ。まず、隣のやつが



移植後、今春に芽吹いた銀杏の御霊木

大本山国分寺 令和2年度下半期年間行事

8月16日 施餓鬼供養
8月23日 地藏盆会
9月22日 秋彼岸会(百萬枚護摩供)
12月31日 正月会
施餓鬼供養・・朝の9時ごろより昼の2時ごろまで卒塔婆に戒名を書き写し、随時ご先祖様の供養をさせて頂いております。午後1時より総廻向をしております。また、事前に卒塔婆の申し込みも受け付けておりますのでそちらのご案内も重ねて申し上げます。
地藏盆会・・檀信徒様のお子様たちや地域の子供たちが集まり、健康の祈願や諸願成就を祈願しております。夕

- 深田 曜誠 (東京都)
- 竹村 全峰 (奈良県)
- 東家 想晃 (熊本県)
- 宮田 豊教 (熊本県)
- 鹿田 友祥 (熊本県)
- 中村 慈恵 (熊本県)
- 岩崎 好晏 (熊本県)
- 卷 隆完 (熊本県)
- 卷 郷完 (熊本県)
- 山田 道現 (熊本県)
- 山本 峯照 (熊本県)
- 原 栄覚 (熊本県)

- 原 栄月 (熊本県)
- 松本 妙英 (熊本県)
- 松野 掌観 (熊本県)
- 松野 掌學 (熊本県)
- 木下 嘉禪 (熊本県)
- 北口 馨円 (熊本県)
- 本多 経源 (熊本県)
- 本多 恵華 (熊本県)
- 興梠 心蓮 (熊本県)
- 高見 廣舟 (熊本県)
- 大淵 洗明 (熊本県)
- 濱田 双雲 (熊本県)
- 緒方 秋慶 (熊本県)
- 津田 章法 (熊本県)

あつと言う間に折れ千切れ落下していき、儂の太い枝も折られ、その他の細い枝も葉も実もほとんど落とされたわい。二体とも瀕死じゃつたがなんとか足下は無事だったため立つことができたおるが。内心流石にもうだめじゃと思つたことは、内緒じゃ。

スジャータのミルク粥

岩尾 観水

お釈迦様が悟りを開かれる前にこんな出来事がありました。菩提樹の下いつものように苦行をなされていたお釈迦様は、今にも倒れそうな状態でした。そこに、村の娘であるスジャータがお釈迦様にミルク粥を供養し命を救いその後、お釈迦様は悟りを開かれたというお話です。その頃のインドでは、苦行(自分を痛めつけ耐えること)で悟りを開けるといふ修行が常に行われていました。ですが、ミルク粥を頂き苦行では悟りを開けないと思ひになり苦行放棄し悟りをお開きになりました。今回は、スジャータにスポッ

健太のひとりごと12

今回、新型コロナウイルスの影響を受けて、日本全体が外出自粛という今までにない経験をしました。国分寺では、春彼岸をはじめ各行事の縮小や地方への出張が中止となりました。その中で新しい生活様式を送る中で今回、私がテーマにしたいのは、「経験する大切さ」です。最近、私は色々な人と話す機会が増えました。その中で改めて感じたことを書きたいと思ひます。今年に入ってから、新しく仕事の内容が変わり大人数で話す機会が多くなり大変になりました。今までは、少人数で話すことの方が多かったのですが、大人数で話すこと中々うまく行きませんでした。少人数だと相手の仕事だったり、視線を追いかけたりどんな内容の話をしていのか自分の中で整理できていたのが、大人数になることで、相手と会話するときの視線を追うだけでも大変で、色々な方向から会話が飛んでくるので、相手の仕事を見ることができません。その上、自分から話せなかつたら、その会話にも入れなくなり自分の伝えたいこともやりたいたいこともできな

じゃと。廃棄ではなくどこかに移植されるらしい。この老木にまだ咲き誇る場所を与えてくれるか。嬉しいことをしてくれるわい。よからう、この老木枯れるまで存分に働くとしよう。ほっほ。しかし、樹に生まれて初めて宙に浮くという体験をしたの。あの、フワツとした感覚はなんともいえない解放感があつたの。我が同胞達よ達者でな。後行く末を頼んだぞ。

儂は、イチヨウの樹。トを当てたいと思います。

さて皆様、この、新型コロナウイルス感染症の中、困っている方に素直に手を差し伸べることが出来るでしょうか。今のご時世なかなか出来る事ではないように思えます。ですが、自分の出来る範囲での親切や配慮を行い少しでもスジャータのような心で人の心を温めようという行いを出来るだけしたいと思ひます。私自身も坂を上るのに難儀している車いすの方を介助したり、道案内など声を掛けられた時には、立ち止まり答えたり、自分の目の前に起こる事だけでもスジャータの心を持って接する様に心がけています。大変な世の中ではありますが、助け合いの精神やお互いを労わる気持ち忘れず、この難を乗り越えられるよう過ごしていきたいと思います。

この世の中は、ネット社会になり、現地に行かなくてもその場所の風景を見たり、想像することが出来ます。でも、その風景と想像は現地で見るものとは、大きく変わることがあります。私はその風景と想像だけで終わらすのではなく、それに付随して現場での経験を足すことでもっと良いものになると思ひました。最後になりましたが、これからも経験する大切さを忘れずに、前を向いて進んでいきたいと思ひます。

令和2年度団体参拝は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け誠に残念な事ではあります。現時点において皆様の安全を担保できる状況ではないと判断し、春に続きまして秋の参拝も中止となりました。来年春季の団体参拝の再開を目指しております。また、皆様と色々な所へお参りさせて頂き、発見や喜びの多い団体参拝を考えていきたいと思ひます。もうしばらく楽しみにお待ち頂き、再開の後には、皆様お誘い合せの上ご参加の程、宜しくお願い申し上げます。

令和2年度団体参拝 中止について

- 杉谷 弘真 (埼玉県)
- 豊田 道悠 (埼玉県)
- () は、師僧の現住所 入宗者順、敬省略

新型コロナウイルス
 早期終息
 當病平癒祈願

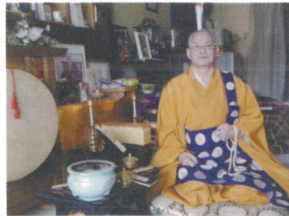
全国の真言宗国分寺派の寺で
 一日も早い終息を願う祈りが捧げられた



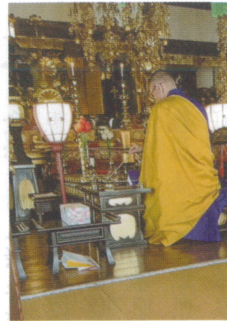
善根山弘法寺



不動ノ瀧東大寺



小巻瑞光師



聖天山西福寺



千体山観音寺



毘紅山龍最寺



勝緑山法幸寺



龍頭山清水寺不動院



清照寺



遍照院



赤倉山金剛寺

宝蔵寺
 西中島別院

大阪御廟



〒533-0011
 大阪市淀川区西中島2丁目6番15号
 電話 06-6885-6700
 受付時間 10:00 ~ 18:00



年配の方からお子様まで安心してご参拝していただけます。いつもスタッフが笑顔でお待ちしております。

国分寺御廟



2021年新春
 境内に竣工予定
 ご期待ください